地域づくり クローズアップ

KOGE 上毛発

一期一会の気持ちを大切にして

町内で開催される各種イベントやお祭りでの賄い、福祉施設の除草作業など、ボランティア活動を通しての地域貢献を目指している「よらんかい」。

人との出会いを大切にし、最高のおもてなしを心がけることで活動の場が広がり、人と人、そして地域間での交流につながっています。

よらんかい

おもてなしの心を大切にして

取材初日は10月24日(日)、旧西友枝小学校で開催された～棚田を自然に還す集い～「松尾山桜友会」の収穫祭でした。朝から激しい雨が降る中、まず、校庭にテントを張っておもてなしの準備から始まりました。

この日は、たまたま地域づくり活動団体「松尾夢クラブ」による、旧西友枝小学校定期清掃日となっていたため、掃除が終わる時間を見計らって、早速よらんかい特製コーヒーのサービス。コーヒーは生豆をその場で煎り、ミルで挽くなど手間ひまをかけたものです。美味しいコーヒーを飲んでもらいたいと、常におもてなしの気持ちを忘れません。

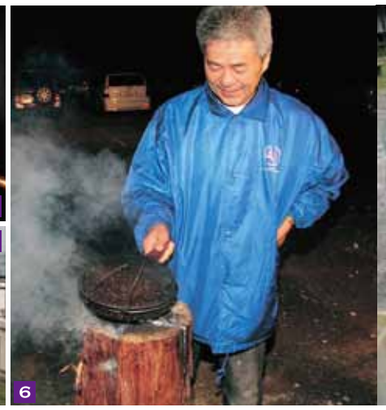
町内外から収穫祭に集まった方々の昼食は、真田正見さんが提供してくれた新米を羽釜で炊いたご飯と、すき焼き。大勢の食事を作るのはよらんかいの得意分野で、大鍋などの秘密兵器を持っているのも活動の強みです。

準備は手際よく進められ、コーヒー担当、お米担当、すき焼き担当とメンバーの持ち場が自然に決まっていき、たちまちのうちに炊きたての新米とグツグツと煮えた美味しそうなすき焼きが出来上がりました。参加者の方々は大鍋で作られたすき焼きを珍しそうに覗き込み、口にすると「おいしい！」という歓声をあげ、次々とおかわりをしていました。

活動を継続させるために

この日、よらんかいは、今後の活動費を生み出すために、特製の募金箱を作成して設置していました。この募金箱の中には風鈴が入っていて、お金を入れると澄んだ音が響くようになっています。食事を食べた方々はよらんかいのおもてなしに大満足の様子で、惜しみなく募金に協力していました。

また、10月10日(日)に開催された上毛祭にもテナントを出店し、ソフトクリームやスパゲティなどを販売して、団体の活動資金を自らの力で稼ぐ努力をしていました。



さて、取材2日目は11月13日(土)に東上集会所で開催された「築上東Music-Lovers，巣雁コンサート」です。

この日のよらんかいは、「すがり」の火文字と打ち上げ花火でコンサートに花を添える役割。常に縁の下の力持ちという気持ちをもって、イベントの手助けを行うよらんかいの皆さん。開演2時間前から会場の準備を行い、火文字の縄と花火をセッティング。司会者から花火開始のアナウンスがされると、「すがり」の火文字が灯され、それが導火線となって50発の打ち上げ花火が夜空を彩りました。

花火の後は、コーヒータイム。また、よらんかい特製「丸太コンロ」で生豆を煎り、美味しいコーヒーを会場に訪れた地域の方々に振舞いました。

出会い、繋がり、広げていきたいボランティア活動

ボランティア活動は、必要とされる手伝いを的確に把握し実施することがとても重要です。そのため、よらんかいでは事前の打ち合わせを入念に行い、「お手伝いをさせていただく」という気持ちを持って活動しています。この気持ちを大切にすることによって、よらんかいには繰り返し声がかかり、少しずつ活動の場が広がっています。

現在の会員数は32名。イベント等での出会いを大切にして、興味がありそうな人には活動への参加を呼びかけて少しずつ会員を増やしています。ボランティア活動は「やってみよう」という自発的な気持ちが大切です。興味がある方は、よらんかいで活動を始めてみませんか。楽しみながら活動ができる場所です。

1 よらんかいの皆さん
2 羽釜で炊き上げられた新米ごはん
3 おいしいと大好評だった、すき焼き
4 収穫祭でおもてなしをするメンバー
5 上毛祭に出店
6 丸太コンロで生豆を本格的自家焙煎する代表の尾北英敏さん
7 火文字ですがりの文字を演出
8 たいへい苑の清掃活動ボランティア